

2023年度は数年にわたったCOVID-19の世界的な感染拡大がようやく収束しつつある一方、教育現場ではChatGPTに代表されるAI（人工知能）の利活用と規制、コロナ禍で普及した遠隔授業と従来の対面授業とのハイブリッド化に関連する対応、18歳人口の減少を見据えたさらなる教育の質保証と学修者本位の教育への転換など、学修者の目線に寄り添った教育の展開がより一層強く求められるようになってきています。

今号では特集テーマを「学修成果の可視化」とし、本学での学修成果の可視化における取り組み事例をはじめ、数多くの実践事例が論考として報告され、学生が学修におけるロードマップの中で自身の立ち位置を明確にするための施策や手法、学生支援のあり方について様々な角度から検討が行われました。

また、今年度の本学公開講座では昨年度と同様に対面形式での講演が開催され、「学修成果の可視化」をキーワードとして、近現代の技術的合理性に基づいたteachingに依拠せずに学修者である学生一人ひとりが自律的な学びを促進できるよう、育成する能力に沿った評価方法を細かく検討し、教育課程で学生自身が取り組んでいる学修がどのような成果として結実していくのか、より具体的に把握していくためのシステム構築の重要性が述べられ、参加者とともに今後の高等教育の充実に向けた発展的な議論が交わされました。

本研究所は2020年度の改組から4年目を迎え、高等教育分野における今日的な諸課題に着目して調査・研究を行うことでその成果を学園全体に還元し、本学における教育発展に貢献すべく、全学的な事業・活動に取り組んでおります。本学教職員の教育・研究活動をより推進し深化させるため、今年度も多くの皆様から多大なるご支援ならびにご指導を賜りましたこと、本稿をもって心より御礼申し上げます。
(武田)

2023年度 高等教育研究所研究員

執筆者の所属は2024年3月末現在のものです

所長	今野 裕之	社会学部社会情報学科教授
研究・FD支援部門長 兼 主任研究員	奈良 雅之	保健医療学部理学療法学科教授
IR推進部門長 兼 主任研究員	池村 えみ	大学事務局長付大学企画室担当部長 (内部質保証・評価等担当)
主任研究員	峯村 恒平	人間学部児童教育学科専任講師
専任研究員	森 彩乃	学長付助教
助手	武田 篤	高等教育研究所助手
職員	佐藤樹利亞	高等教育研究所職員

人と教育

第18号

2024年3月25日 発行

発行 人 ● 所長 今野裕之
発行 所 ● 目白大学高等教育研究所
〒161-8539 東京都新宿区中落合4-31-1
03 (5996) 3187 (直通)
印刷・イラスト ● 株式会社 白峰社
〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-49-6
03 (3983) 2312